特集

国際理解をすすめ

国際フェア2011を開催します！

秋の恒例イベントと言えば？
そうです！埼玉県のNGOの祭典、「国際フェア2011」を今年も開催します。
お出かけ日和の秋の休日、さいたま新都心で世界に触れてみませんか？

11月5日（土）、6日（日）
両日とも10:00~16:30
さいたま新都心
けやき広場

民族舞踊やクイズ、ご当地ヒーローやゆる玉応援団のワクワクするステージパフォーマンスがいっぱい。

活動紹介の展示を通して、埼玉県のNGOを見てみませんか？民族衣装の試着や民芸品の販売もあります。

アジア、アフリカ、ヨーロッパ、南米の美味しい料理に、日本からはB級グルメが参加します。

同時開催　コープフェスタ2011 つなげよう笑顔　健康フェスタ　埼玉物産観光フェア

「夏休み！教員のための国際理解教育セミナー」を開催しました

これから社会に出ていく子どもたちにとって、他の国について理解を深め、文化の異なる人たちと共に生きていく力を育む国際理解教育は、ますます重要になっています。

そこで、学校の教員を対象として、8月9日（火）・10日（水）の2日間、埼玉県ユニセフ協会、（独）国際協力機構広尾センターと共催で、国際理解教育の実践方法について学ぶセミナーを開催し、67名が参加しました。

今年は教科の中に国際理解教育を組み込む方法をテーマに、子どもたちが他の国について興味を持ったり、世界で起きている問題について考えたりするには、具体的にどのような授業をしたらよいかを学びました。

1日目は講義とディスカッション、2日目は分科会だったのですが、当協会の担当した分科会では、韓国とペルーの講師による模擬授業を見ていただき、それをもとにどのような授業を組み立てられるかを考えていきました。ペルーの授業は「幸せってなんだろう」というテーマで、貧しくても楽しく過ごしている山間部の子どもたちを例に挙げ、日本との違いを探っていきました。参加者からは「道徳の授業に使ったらいいのかも」「1回のイベントにならないように、事前事後にこんな授業をしたらいいのでは」などと様々なアイデアが出て、2日目の最後には「充実したセミナーだった」というご意見をたくさんいただきました。

今回のセミナーで考えたことを、2学期からの授業に活かしていただけるよう期待しています！

参加者の声（参加者アンケートから）

- 国際理解教育について知識を深めるとともに、他の学校の様々な人と意見交換でき、貴重な体験になりました。具体的な実践方法などの情報を得る機会は少ないので、こうしたセミナーはぜひ積極的に開催してほしいと思います。（小学校教員　男性）
- 実際に外国出身の方に自国の文化を紹介していただく授業は臨場感、説得力があり、学校で生徒に授業をしていただきたいと思いました。体験したり、写真や実物を見られたりするのはとてもよいと思いました。（中学校教員　男性）
- 国際理解教育ができない言い訳はたくさんありますが、“やる”と決めて、難しく考え過ぎずに授業に組み込んでいくことが大切だと思いました。（中学校教員　女性）